

次世代へ伝える

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神 忠雄3等海佐）は、5月22日（水）、大和市立桜丘小学校（大和市上和田）の「総合的な学習の時間」に協力し、6年生87名に「いのちの授業」の講話を実施した。

所長の明神3佐が講師となり、『なりたい自分になるため、今できること、頑張りたいことを見つける』をテーマに、所長自身の小学生時代から自衛隊への入隊、入隊後の勤務などを通じて得た経験を「5つのポイント（感謝・努力・仲間・やりがい・命）」にまとめて説明した。また、講話の間には、現代の「便利さ」を知ってもらおう『昭和クイズ』を実施して大いに盛り上がり、児童たちとの距離を縮めた。

児童たちは講話の内容に興味を持った様子で、「今までで一番辛かったことは？」、「いつ仲間ができたの？」、「感謝している人は？」などの多数の質問が上がり、次世代を担う児童たちにはしっかりと気持ち伝わったと感じた。

所長と広報官は、講話終了後、教室に移動して児童たちとともに懐かしい給食を食べ、懇談や腕相撲などで交流を深めた後、すっかり「仲間」となった児童たちとの別れに寂しさを感じながら桜丘小学校を後にした。

厚木募集案内所は、「今後も、地域社会との交流を深めるとともに、自衛隊への理解促進に努めていきたい」としている。



次世代へ伝える。



盛り上がる昭和クイズ

東洋英和女学院大学の学生らが護衛艦『いずも』を見学

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 細田拓郎2等空尉）は、5月26日（日）、東洋英和女学院大学（横浜市緑区）の『日本の安全保障に関するゼミ』の学生、教授等23名を護衛艦『いずも』の見学に招待した。

横須賀地方総監部の正門から入門した学生たちは、海上自衛隊最大の護衛艦である『いずも』を間近に見て、「すごい！迫力満点」、「カッコイイ」と歓声を上げ、乗艦後は、航空機用の昇降機で飛行甲板に上がって広い甲板を歩いたり、艦橋で計器類の説明を聞いたり、艦長席に座らせてもらって記念撮影したりと、非日常の空間に目を輝かせていた。

また、乗員の居住区を見学し、艦内生活の様子を聞いて「イメージと違い快適に過ごせそう！」という学生がいたり、見学会の最後に行われた同世代の女性隊員との懇談でも、「学生時代勉強したこととは活かせていますか」、「お休みの日はどのように過ごしていますか」など、仕事やプライベートに関する様々な質問が飛び交ったりするなど乗員の勤務環境や生活環境にも関心を持ってくれたようだった。

見学に参加した学生の一人は、「有意義な1日になりました。あらためて自衛隊の装備の素晴らしさを実感しました。参加できて良かったです」と話してくれ、ゼミの教授からも「今後も、自衛隊の基地見学を通じて、日本の安全保障について学生と議論していきたい」との感想をいただいた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も大学と連携を図って自衛隊の魅力を伝え、志願者を獲得するために日々まい進する」としている。

